

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		財産管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部
	施策	25 行政改革の推進				所属課	財政課
	基本事業	89 公有財産の管理運営				所属班	財政班
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	市財産管理規則・市普通財産管理及び処分に関する事務処理要領
		2	1	7	11170		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・公有財産で余剰となっているものについて、貸付や売却等による財産の適正管理を行う。 ・行政施設(庁舎、学校など)としての目的を持っている行政財産、行政財産として使われていたがその目的を持たなくなった普通財産、行政財産として利用する目的で先行取得したが計画変更等によりそのまま持たざるを得なくなった普通財産などが存在する。 ・厳しい財政状況の中、必要性がなく、なおかつ将来的な利用が認められない普通財産については、処分が必要となっている。 ・上記のほか、市内公有施設の廃棄物処理、公有施設の建物保険手続き等の財産を管理する事務を統括して行っている。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産の取得・処分、貸付契約、貸付地以外の草刈等維持管理、境界確認立会、財産台帳の整備等を行う。 ・行政財産の使用許可、使用許可書の交付、使用料の請求手続きを行う。 ・廃棄物処理の契約締結、委託料支払いを行う。 ・公有施設の建物保険の手続きを行う。
【主な予算費目】	旅費、需用費(消耗品費)、役務費(公有建物保険料)、委託料(普通財産除草、廃棄物処理)等
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会から、不良化した公共用地の売払い等、処分を求める声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	普通財産の貸付契約、貸付地以外の草刈等維持管理業務、境界確認立会、財産台帳の整備等を行った。また、公有施設の建物保険料、事業系廃棄物収集運搬業務に伴う委託料を支払った。普通財産の払い下げによる処分を行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様に財産の管理を行う。売却条件を満たせる物件を精査し、売却する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ㎡	予算の主な増減の理由 主に普通財産除草及び事業系廃棄物処理等に係る委託料の増。
→ ア: 普通財産※財産調書における決算年度末現在高	㎡	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 公有財産(行政財産・普通財産)		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 普通財産※財産調書における決算年度末現在高 ㎡
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・適正な管理を行う。 ・貸付けや処分により自主財源の確保を図る。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 財政課による普通財産売却件数 件
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 議会からの不良化した公共用地の売払い等処分を求める声に加えて、市の財政状況からも自主財源を確保する必要があるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	㎡	2,217,549	2,217,198	2,217,198	2,161,959	2,159,959	2,157,959	2,157,959	2,157,959
	イ									
②対象指標	ア	㎡	2,217,549	2,217,198	2,217,198	2,161,959	2,159,959	2,157,959	2,157,959	2,157,959
	イ									
③成果指標	ア	件	1	0	2	1	2	2	2	2
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	23						
		地方債	千円							
		その他	千円		2,094	1,212	1,723	82	82	82
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	5,969	4,124	5,939	5,594	8,588	8,299	8,299
		(A)のうち指定経費	千円	5,992	6,218	7,151	7,317	8,670	8,381	8,381
		(A)のうち時間外、特勤	千円	37	14	15	14	15	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	710	540	500	615	500	500	500
(B)人件費計		千円	2,890	2,151	1,992	2,450	1,992	1,992	1,992	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,882	8,369	9,143	9,767	10,662	10,373	10,373	

事務事業名	財産管理事業	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 一部売却できたものの不良化した普通財産はまだ残っている。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 所有する普通財産について引き続き処分を図る。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 処分可能な普通財産を積極的に公売等にかけて処分を進めていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 本事業以外には類似の事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現段階における必要最小限の予算を計上している。公共施設の廃棄物は、年々増加傾向にあるため、今後事業費が増大していくことが見込まれる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の範囲で事務を行っており、人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 処分については例外を除き公売等にかけており、維持管理についても市の財産を管理するものであるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の財産であり移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現在貸付中の普通財産について、継続的に借りている団体等への売却を進めたかったができなかったものの、平成26年度の実績としては普通財産1465m²を19,632,000円で売却することができた。今後も利活用の見込みがない物件を公売等の手法を取り入れ、適正な価格で処分するなど積極的な資産運用を図ってきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>処分可能な普通財産を積極的に公売等にかけて処分を進めていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>土地の払い下げを行う場合においては不動産鑑定評価が必要な場合が多々ある。鑑定にはそれなりの費用がかかるため、数十万程度の低い価値と見込まれる土地の払い下げ等についても鑑定するのか今後検討していく。</p>																						